

市議選日程

- ▼立候補者等打合せ会 1月17日
- ▼選挙告示の日 2月8日
- ▼選挙投票の日 2月18日
- ▼公職選挙法による任期満了の日 2月22日

○くわしいことは次号に掲載いたします。
(選挙管理委員会)

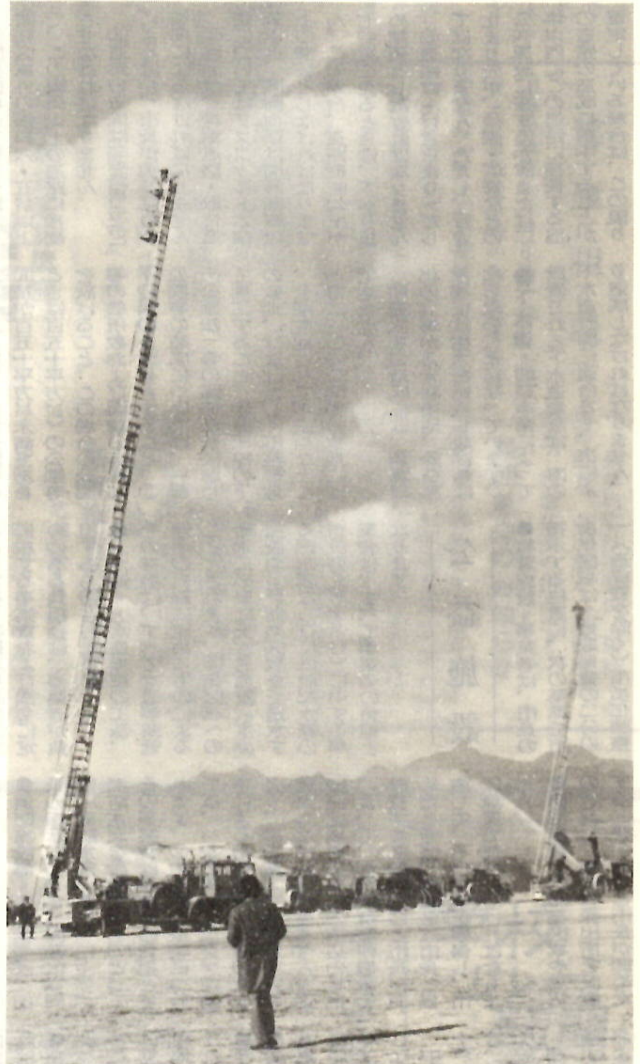


初市に45万人の人出

6日 敷島公園下河原で消防出初式

○三百五十年という長い伝統をもつ「前橋の初市」が、九日、市の中心街にダルマを始め縁起物や植木など千店以上の張店と約四十五万人(市商政課調べ)の人出を集めて行なわれ、景気の上昇と威勢のいい手始めとが交じり、初春にふさわしい初市風景で、終日にぎわいました。(写真左上)

○一月六日、敷島公園総合グラウンドの西利根川べり駐車場で行なわれた消防出初式が行なわれ、折からの寒風のなかを市消防隊員千人、消防車五十八台が市長の祝詞を受け、新しい年の防災について誓いを新たにしました。当日、人命救助の天田とみ子さん(宮地町)早期発見通報の佐藤茂さん(タクシー運転士)北口倍幸さん(高崎市岩鼻町)人命救助の市消防署特科小隊に市長、消防長から表彰ならびに感謝状が贈られました。



寒風をついての消防出初式(敷島公園利根河原)

荒牧小の建設 急ピッチ

4月の開校をめざして

○年ごとに増加の一途をたどっている桃川小学校の児童の過密化対策のひとつとして、昨年十月着工された荒牧小学校の新設工事は、四月八日の新学期からの開校をめざして、急ピッチで工事中です。鉄筋三階建て、一部四階建て普通教室十八、特別教室九、その他管理関係室六など、延べ四千六百二十四平方メートルで、総工費は一億九千九百万円。通学区は国道十七号線以西の田口・関根・荒牧・川原・上小出町で、児童数は約五百人、十六学級となる予定です。



荒牧町に急ピッチで建設中の荒牧小学校

短信

■郵便貯金通帳の盗難にご注意/被害は半年間に一億五千万円も 郵便貯金通帳が盗まれて預金者の知らない間に払い戻される事件が、いせんとあつとを絶えず、半年間に全国で千二百五十件、被害額は一億五千万円にものぼっています。郵政省では盗難にあつた場合の早期届出、印鑑と通帳は別の場所に、などみなさんへ注意を呼びかけています。(前橋郵便局)

■料理飲食等消費税の公給徴収証完全交付月間です 群馬県では十二月十五日から一月三十一日まで「公給徴収証完全交付月間」として、みなさんにこの税金を知っていただく運動を実施中です。料飲税は、みなさんが料理店、キャバレー、旅館、飲食店などで遊興・飲食・宿泊・休憩などをしたとき支払う料金に、一定の税率(それぞれの場合によって異なりますが、一〇%)でかかる税金です。新年会の季節でもあり「公給徴収証」は必ず受け取って、正しい納税にご協力ください。(前橋財務事務所)

■若い人たちの研修に「国立赤城青年の家」をご利用ください 文部省が全国で七番目の「国立青年の家」として赤城の松林の中に設置した施設です。開所以来一年八か月、研修団体千二百、延べ十三万人が利用しています。関東平野を一望できる広大な敷地、四百人を収容できる宿泊棟、大食堂を備え、経費は三食三百八十円の食費だけで利用できます。①職場で働いている青年②高校・大学生③青少年指導に当たっている人(教職員社教施設職員、PTA関係者)など四人以上のグループなら、誰でも利用できます。希望者は国立赤城青年の家事業課(電話富士見局一三一)へどうぞ。

■水道料金の自動振込み 二万五千円が利用 水道局では水道料金等の払込み方法として「自動振込み制度」を設け、毎月多くのみなさんが申込手続きをしています。昨年十二月には二万五千八日目の申込者となった福田恒夫さん(朝日町三丁目)に記念品を贈りました。この「自動振込み」は、取引先の金融機関を通じ、かんたんな手続きで、毎月一定の日に預金口座から水道料金の支払いができる便利な制度です。共働きなど不在がちのご家庭では、とくにこの制度を利用されると便利です。あなたのお家でも、どうぞ。(市水道局)

として保存しておいてください いつかまた お役にたつことと思います

ねすみの一斉駆除

2月20日まで

市では、2月10日から20日までの間、ねすみのいっせいで駆除を行います。衛生的、経済的に人間に多大の害をおよぼすねすみのほくめつにご協力ください。

【薬の取扱い注意】①殺そ剤(ねすみをとる薬)が配布されたら幼児等が誤って食べないよう安全な場所に保管しましょう。②家ねすみ退治の薬は、人畜に害が少ないようにできていますが、誤って食べたときは、すぐに医師の診察をうけてください。

③薬には直接手をふれない。
 ④駆除方法Ⅱ① ねすみは雑食性の動物ですから、食餌は取りかたづけ、とくに油類の食物は厳重に保管すること。
 ⑤薬の配置場所は、ねすみの通路から少し離れたところまたは台所、押入、倉庫等の物かげに30粒ぐらいづつ置いて、毎日減った分を補充し食べなくなるまで続けましょう。
 ⑥配置時間は夕食後が比較的よく翌朝調べて、食べていない場合は、置場所をかえるかまたは、ねすみの好む油類を使った食物をまぜるとよく食べます。
 ⑦捕獲したねすみは、川や空地へ捨てず、ビニール袋に入れ、ゴミ収集日に出すか、焼却、または土中深く埋めてください。

市職員募集

若技能職

次のとおり、市職員を募集します。

【職種および採用予定人員】

①養護技師補②機械操作員(六供清掃工場勤務)③水道技手④通勤用務員⑤住込用務員⑥清掃員⑦給食員⑧各若干名

【応募資格】

①養護技師補：昭和13年4月2日以降に生まれた女子で、学歴は問いませんが短大卒業程度の学力を有し、看護婦免許(准看護婦免許を含む)、養護教諭免許(二級)を有している人、または養護教諭免許(二級)を取得する意欲のある人。居住地は、本市に通勤可能な地域に限ります。②機械操作員水道技手、通勤用務員、住込用務員、清掃員、給食員……いずれも、昭和48年4月1日現在で37歳以下の男子(給食員は女子に限る)で学歴は問いませんが、本市に通勤可能な地域に居住している人。住込用務員は居住地の制限はありません。

【申込方法】

所定の申込用紙に必要事項を記入し、写真、成績証明書(養護技師補に限る)を添えて市役所人事課(大手町二丁目十一)へ提出してください。ただし、郵送による受付はいたしません。

【受付期間】

1月22日(月)から2月10日

冬山登山の注意

岳人やスキーヤー待望の冬山シーズンです。登山やスキーなどの野外活動は雄大な自然環境のもとで行なわれるので、安全に、しかも慎重に実施されることは有意義ですが、冬山は、気象の急変、大雪、なだれなど思わぬ事態が発生することがあります。冬山登山、スキーツアーを実施する場合は、常に安全性を考え、事前に基礎的訓練や豊富な経験と技術をもつリーダー、そして、慎重かつ適正な計画を立てて実行する必要があります。山岳遭難事故防止のために次の点を守りましょう。

①厳冬期は、悪天候が多いので気象条件、特に大雪に注意しましょう。②すぐれたリーダーのもとで余裕ある日程を立て、適正な計画のもとで行動しましょう。③学生の冬山登山は、適正な指導者のもとで実施すること。④登山計画は、家族、所属団体等にこれを連絡するとともに計画書(届)を地

市の人事異動

1月1日づけ

市では、一月一日づけで建設部と社会部の機構改革に伴う人事異動を発令しました。この異動は、建設部が建設部と都市計画部、社会部が民生部と生活環境部に分けられたことを中心とし、課長級以上の異動は、次のとおりです。

▽常勤監査委員(議会事務局局長)戸塚正雄▽民生部長(社会部参事福祉事務所長)上田松次郎▽生活環境部長(企画部参事・公害交通課長)金子功▽事業課担当参事(商工部参事・事業課長)高橋義則▽農政部長(農政参事・農政課長)鎌塚正▽建設部長(建設部参事・区画整理課長)佐藤勝司▽都市計画部長(建設部長)藤島清多▽土地開発公社常任理事・事務局長(農政部長)黒崎鉄雄▽教育次長(人事課長)岩淵威▽議会事務局長(社会部長)松原嘉起▽水道局長(教育次長)中村利三郎

▽人事課長(厚生課長)森田誠▽市民税課長(清掃課長)岡田勝二▽公害交通課長(衛生課長)徳安謙三▽厚生課長(保健課長)永井作治▽国民年金課長(市民税課長)須賀康泰▽保健課長(国民年金課長)小島繁男▽衛生課長(児童文化センター館長)高橋和

児童文化センターより



親子造形教室「親子で七宝焼をしよう」
 あなたのペンダントやおかあさんのブローチ、おとうさんのネクタイピンなどを七宝焼で作ります。日時は、2月4日(日)午後1時から4時まで。対象は、小・中

「親子造形教室」親子で七宝焼をしよう
 あなたのペンダントやおかあさんのブローチ、おとうさんのネクタイピンなどを七宝焼で作ります。日時は、2月4日(日)午後1時から4時まで。対象は、小・中

勤労者生活文入選 一席に北村さん

前橋市労働教育委員会主催、前橋市後援「勤労者生活文」を募集、働くかたがたの生活の実情、働く生活を通じての感想を作文。元警察等に必ず提出しましょう。⑤スキーヤーも冬山の注意をしよう

一席に北村さん
 うぶん守り事故防止について万全の配慮をすること。

伝説とその付近

雪の出合い(八幡様・大蓮寺)



昔、雪の降るある朝のこと、八幡宮別当、神宮寺の住職と、板屋町(もと立川町)大蓮寺の住職とが、途中であつたり出あつた。その時、大蓮寺の住職が「おはよう、昨夜不思議な夢を見た。その夢には『大蓮寺の本尊は、八幡宮の本尊である』と、それを貴僧に語ろうと思つて出かけてきたところである」と、それを聞いた神宮寺の住職は「さても不思議なこともあるもの、自分も昨夜それと違わぬ夢を見たので、これを貴僧に告げようと思つて出かけた」という。

二人は、遂に相談のうえその翌日に八幡宮の本尊である。本地阿彌陀如来を、大蓮寺から神宮寺へ移したといふ。

さらに一つ不思議なことがあつた。見知らぬ旅僧が、大蓮寺へ来て、しよつてきた仏像をそこに置いてそのままどこかに立去つた。その仏像は、いま大蓮寺の本尊であるといふ。

また別の話によれば、諸国遍歴の修験者が、いまの八幡宮の鎮座する地で休んだ。その頃は、この辺は木立うっそうたる森であつた。修験者は、石に腰かけたまま眠つてしまつた。修験者の夢に入つたのは、その筈(おひ)の中にまつられた神霊で、ここに跡を残されたの神託。そこでこの地に神霊をまつた。それが今の八幡宮であるといふ。(上毛及上毛人)こんな古い話が伝えられている八幡様を訪ねて、神官の宮沢さんにお話を伺つてみました。

「この話は、八幡宮由来記写に記されてありますが、神宮寺がど



こにあつたのかは、わかりません以前、多居と多居の中間北側に道元房という僧房がありました。由来記を見せただけです。一つの方には宝暦十一年(一七六一)辛巳八月とあります。そしてこの話が書いてあります。ここから出たものでしょうか。さらに「御神躰、御弊、本地阿彌陀仏、鑄物、御丈、巻尺三寸」とあり神宮寺については「勝庵山報身院神宮寺」とあります。

前橋風土記によりますと「神宮寺、前橋八幡神社の傍に在り。元龜年中(一五七〇)一五七二)金蓮房といひ、天正年中(一五七三)一五九二)最勝院と号し、今は神宮寺と稱す」とあります。

由来記にも金蓮房の文字が見えますし、かつて消防署のところにあつて鐘樓の鐘は、神宮寺なごりの鐘といわれています。

そこで今度は大蓮寺の蓮池に職をお訪ねしました。

「わたしたちは戦災で焼けてしまひ書いたものはありませんが、二人の僧が出合つたところは、馬場川にかけられた橋の上だそうです。以来、この橋を『いきあいの橋』といつたといひます」

中央通りの坂の中途馬場川に今でも橋がありますが、橋名は見当たりません。昔から斜にかかつていたようです。

数寄屋橋ならずとも、あの橋のたもとで、こんな話があつたとは、だれ知るよしもなく、鐘樓とともに消え去つたのでしょう

【写真は馬場川付近、いきあいの橋のあつたといわれるあたり】

今月の納税

昭和四十七年度 市県民税 第四期

昭和中四十七年度 市県民税 第四期 お早めに納付ください

あなたかい ころろ

現金一万円 本町二丁目一六一 一四種田道賢さんから社会福祉事業に。